

やってみよう！

ログインガイド



はじめに

みなさんが、タブレットを使った学習を楽しく・安全に進めることができるように、クラウドサービスを使います。

クラウドサービスを使うためには、IDとパスワードを入力する必要があり、そのことを「ログイン（サインイン）」と言います。

ログインについて、学んでいきましょう。

ログインが必要なもの

- ログインが必要なものは、大きく分けて5つ
- それぞれのログイン方法を説明します。



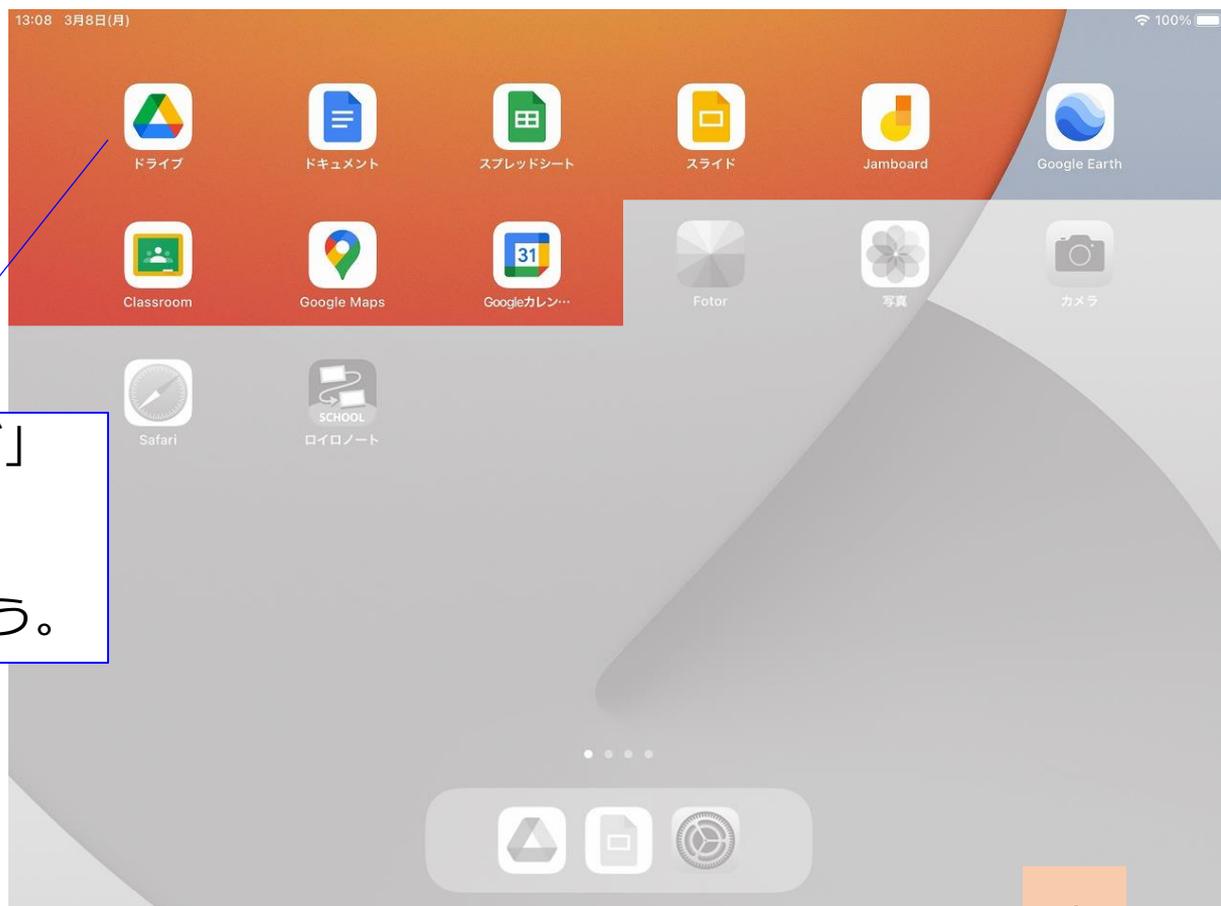
Google系にログインしよう！

- これから、使うことが多くなる
Googleのアプリにログインしてみます。





- Google系のログイン方法です。
- アプリは、iPadの1ページ目にあります。

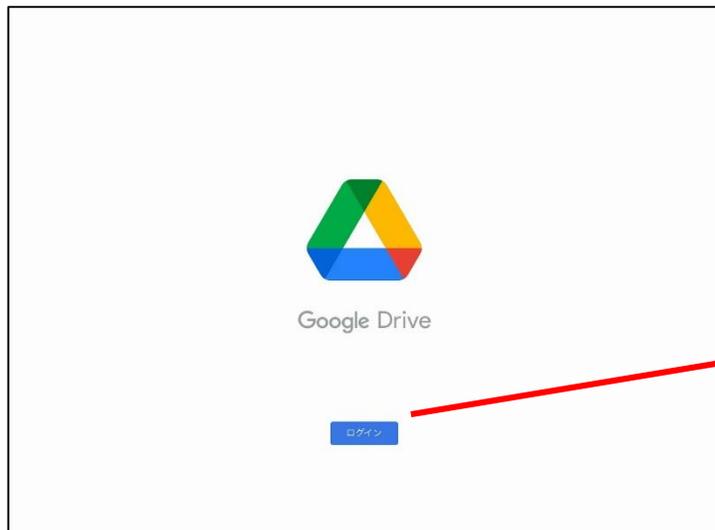


①最初に「Googleドライブ」
にログインします。

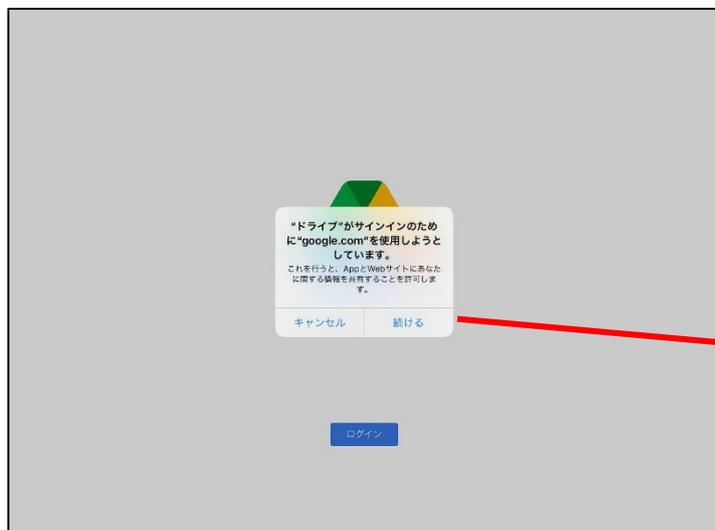
アイコンをタップしましょう。



②Googleドライブを開くと
ログイン画面になるので、
「ログイン」をタップします。

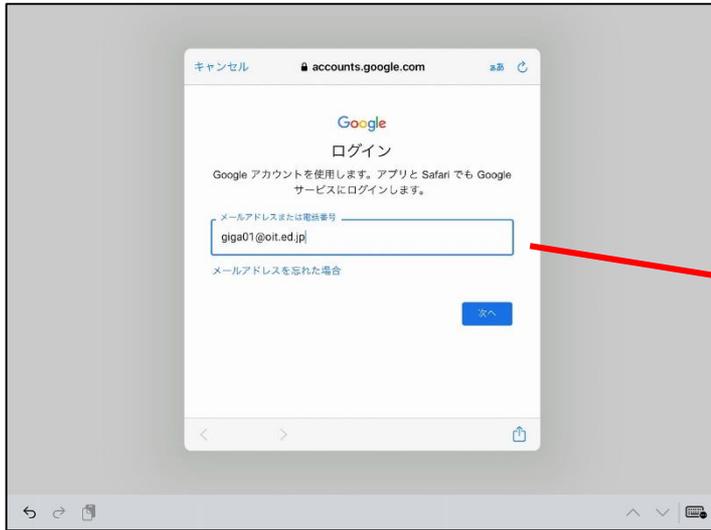


③「続ける」をタップします。

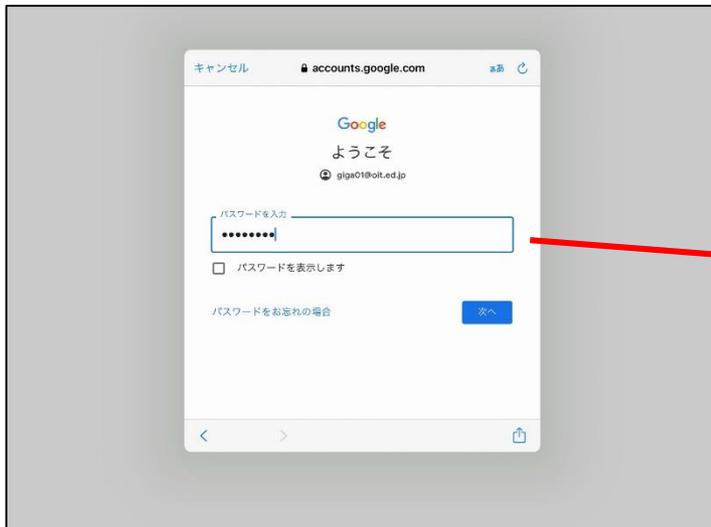




- ④自分の I D
「〇〇@oit.ed.jp」を
入力して、「次へ」をタップします。



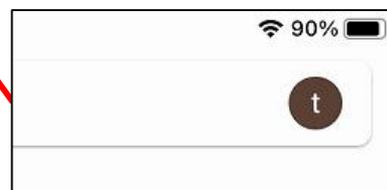
- ⑤自分のパスワードを入力して
「次へ」をタップします。



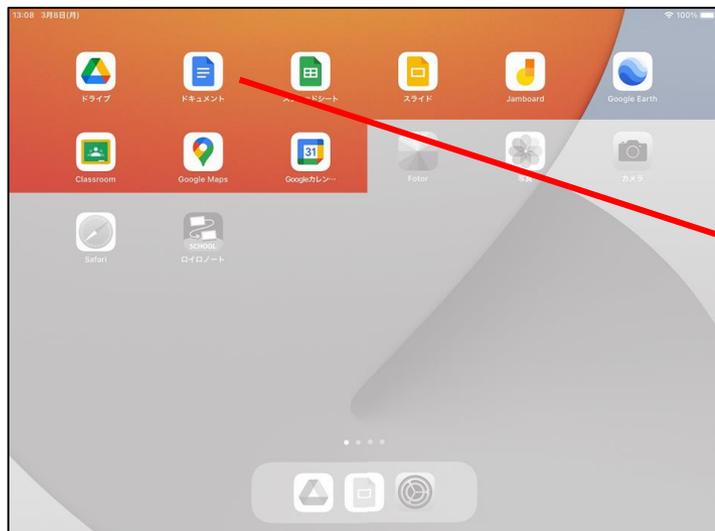


⑥Googleドライブにログインできました。
（右上のマークを確認）

ログアウトしなければ、次回からは
①～⑤の作業は、いりません。



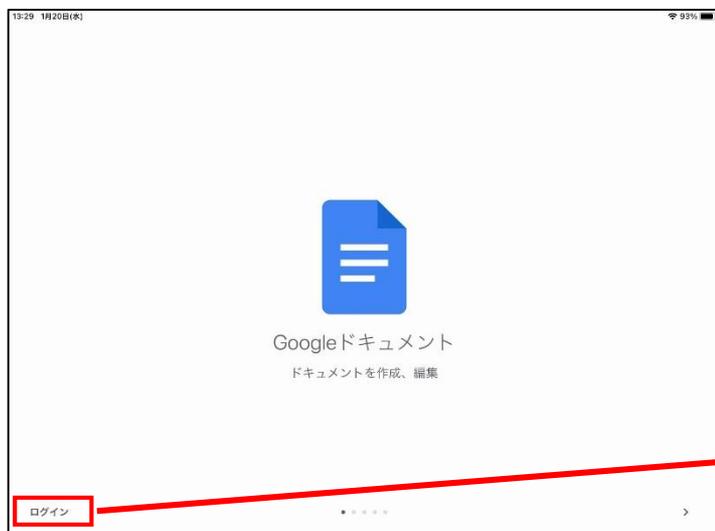
- Googleドライブでログインをしていれば
他のGoogle系アプリには、簡単にログインできます。
- 次のページから、他のGoogle系アプリへのログイン
の仕方をご紹介します。



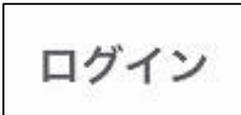
① iPad 1 ページ目の
「ドキュメント」をタップします。



【ポイント】
◇スプレッドシートも
同じ手順でログイン
できます



②画面の左下に
「ログイン」というボタンが表示されるので、タップします。

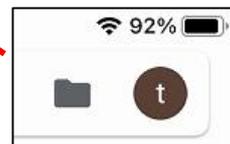




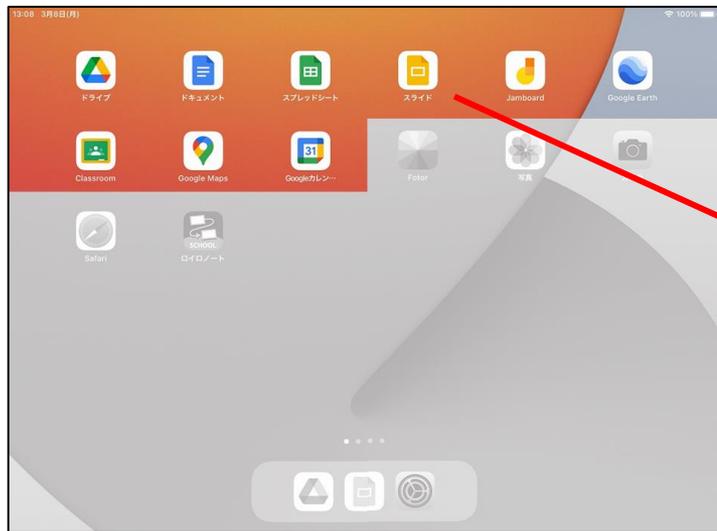
③画面の下の方に、GoogleドライブでログインしたIDが表示されるので、「〇〇として続行」をタップします。



④Google ドキュメントにログインできました。（右上のマークを確認）



ログアウトしなければ、次回からはログインの作業は必要ありません。



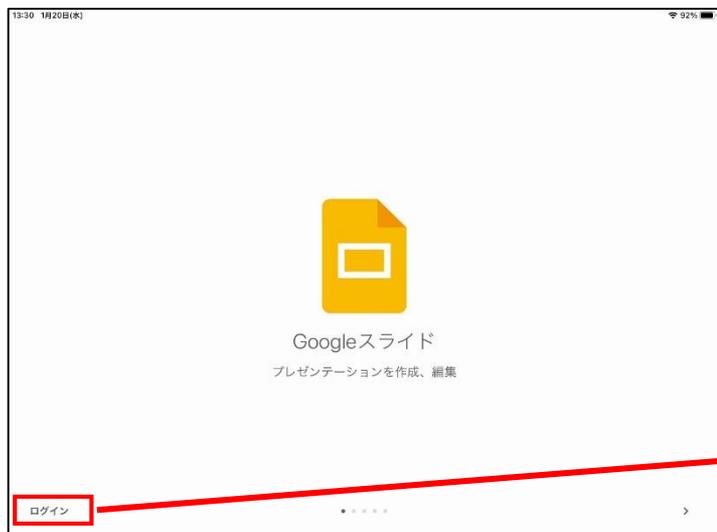
① iPad 1 ページ目の
「スライド」をタップします。



【ポイント】

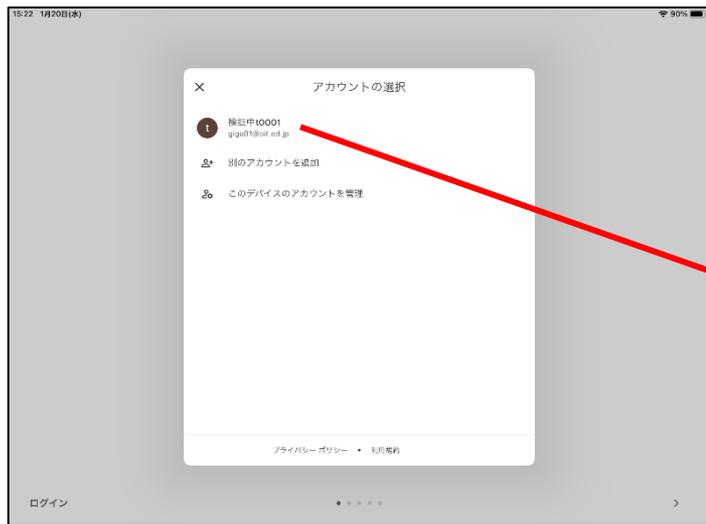


◇ドキュメント、スプレッドシートとほぼ同じですが、少しちがうところがあります。



②画面の左下に
「ログイン」というボタンが表示されるので、タップします。

ログイン



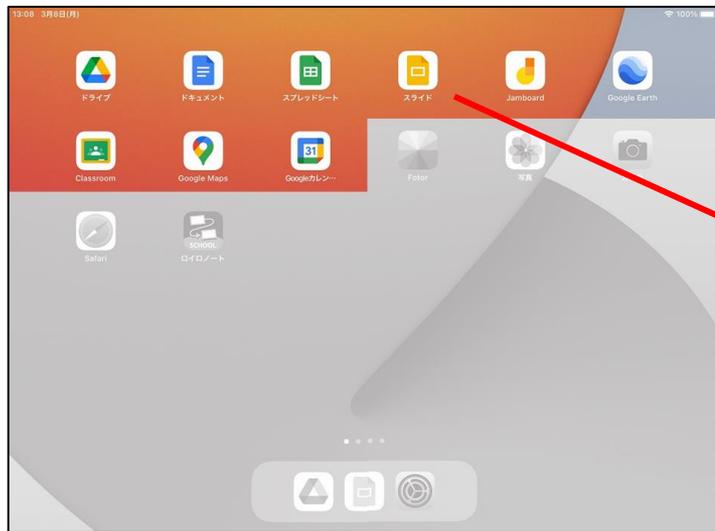
③ 「アカウントの選択」という画面が出るので、自分のアカウントを選びます。



④ Googleスライドにログインできました。(右上のマークを確認)



ログアウトしなければ、次回からはログインの作業は必要ありません。



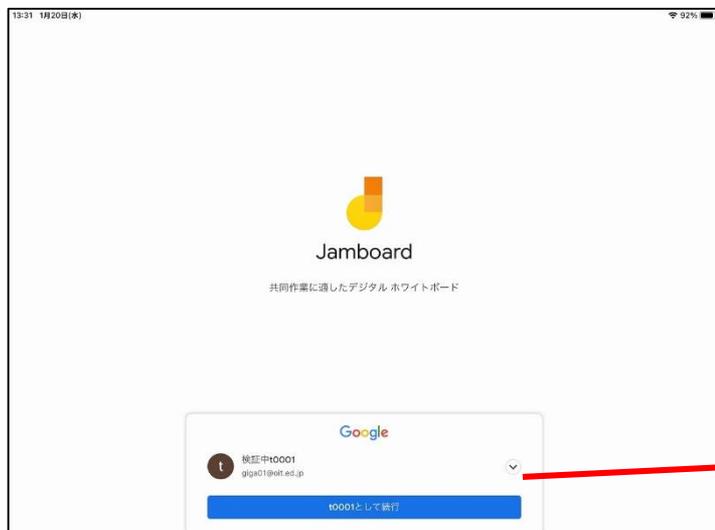
① iPad 1 ページ目の
「Jamboard」をタップします。



【ポイント】

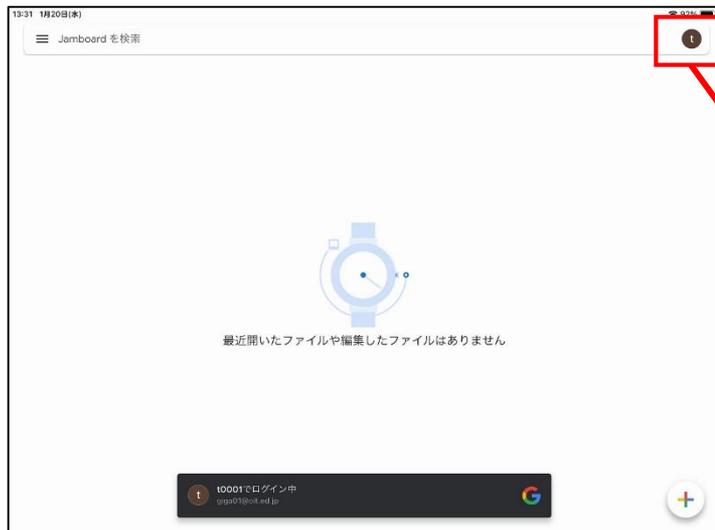


◇ドキュメント、スプレッドシートとほぼ同じですが、少しちがうところがあります。



②画面の下の方に、GoogleドライブでログインしたIDが表示されるので、「〇〇として続行」をタップします。



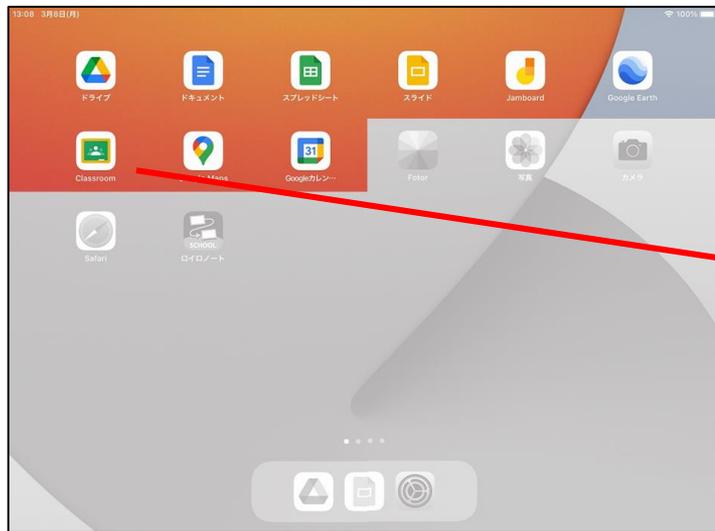


- ③Jamboardにログインできました。
(右上のマークを確認)
ログアウトしなければ、次回からは
①②の作業は、いりません。



- Googleドライブでログインをしていれば
ドキュメント・スプレッドシート
スライド・Jamboardには同じような
手順でログインすることができましたね。





①iPad 1 ページ目の
「Classroom」をタップします。



【ポイント】 
◇Classroom (クラスルーム)

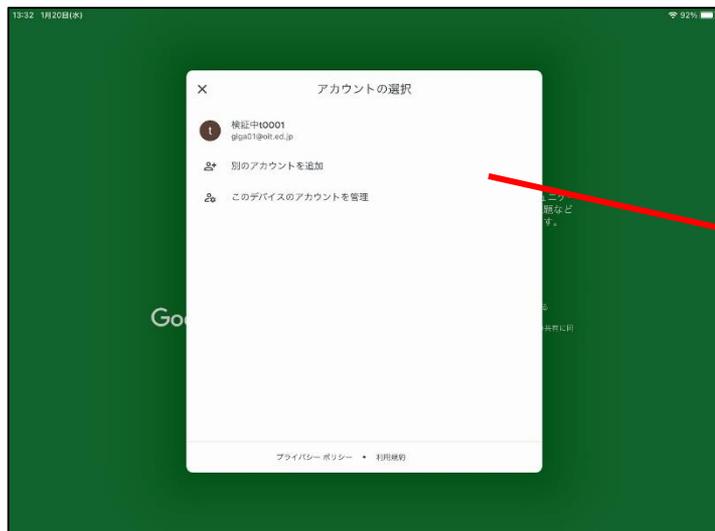


②クラスルームを開くと、「認証画面」
になるので、「使用する」をタップ
します。

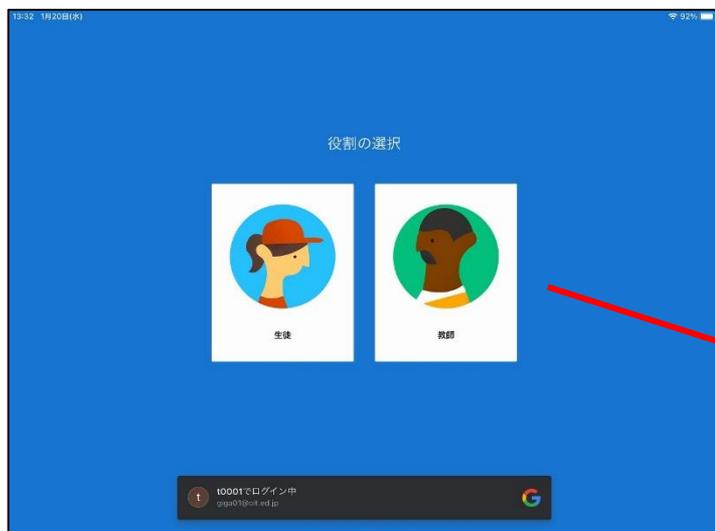




③GoogleドライブでログインしたI D
が表示されるので、タップします。

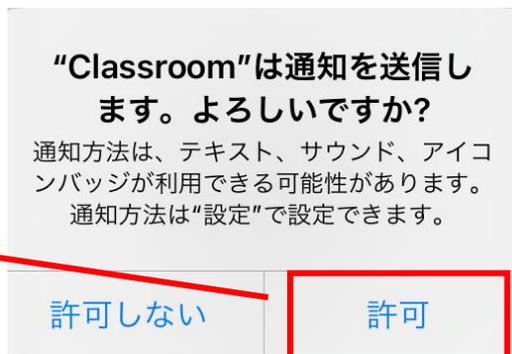
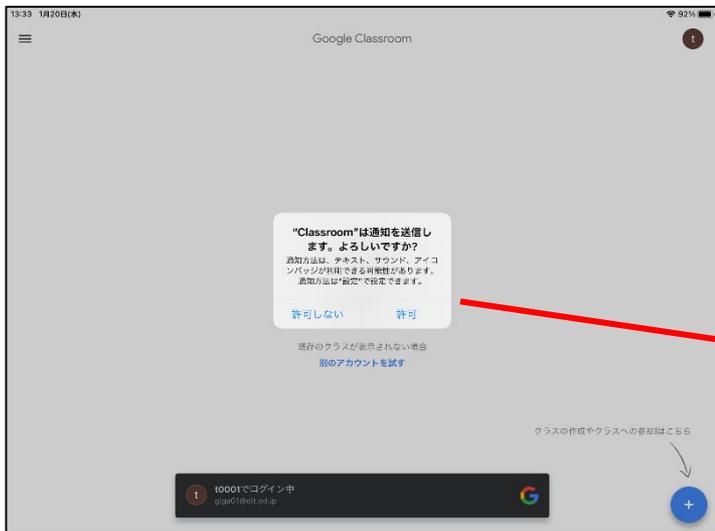


④ログインが成功すると「生徒」か
「教師」を選ぶ画面が出るので、
「生徒」を選びます。

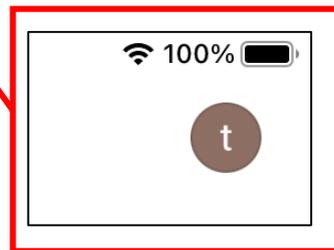
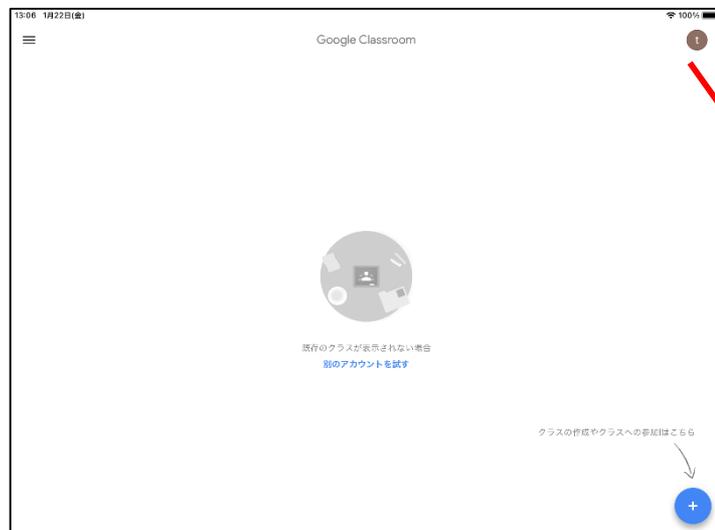




⑤ 「許可」をタップします。



⑥ Classroomにログインできました。
(右上のマークを確認)
ログアウトしなければ、次回からは
そのまま使用できます。



ロイロノートにログインしよう！

- スライドを作ったり、友だちと考えを共有できたりする、ロイロノートにログインしてみましよう。

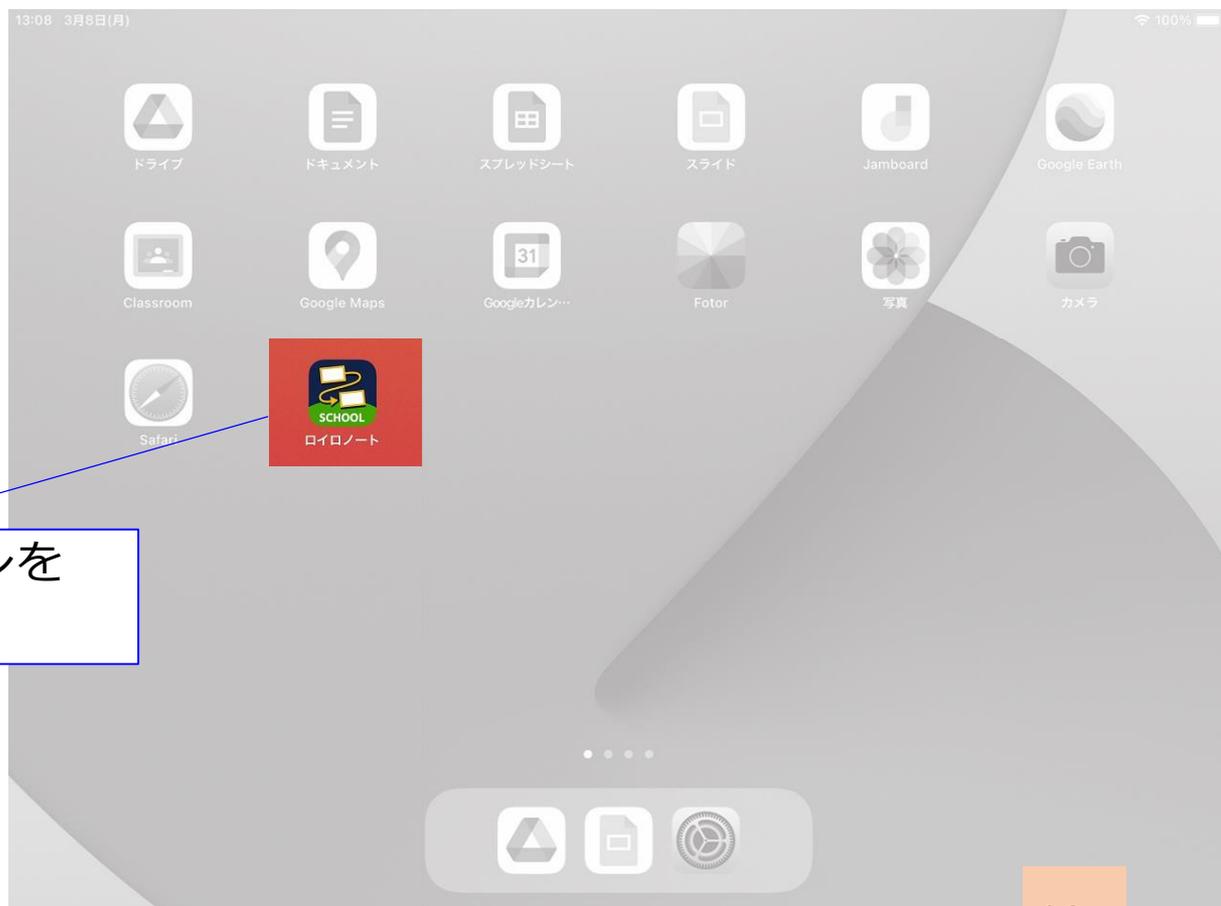




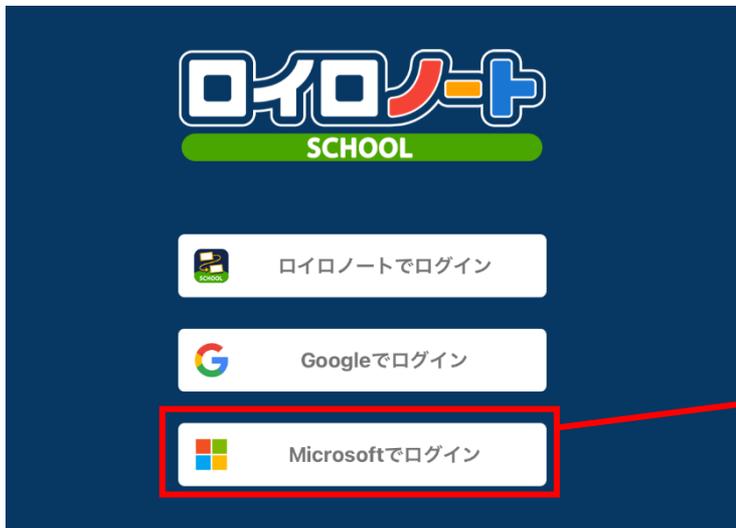
1



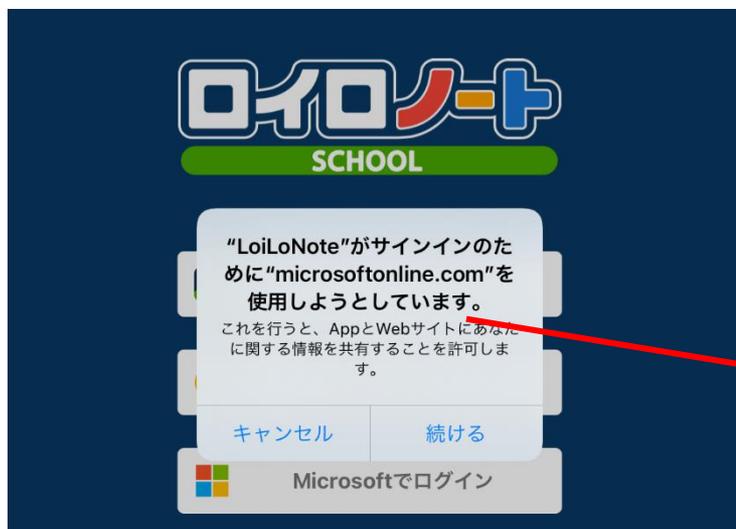
- ロイロノートスクールのログイン方法です。
- アプリは、iPadの1ページ目にあります。



①ロイロノートのアイコンを
タップします。



②ロイロノートを開くとログイン画面になるので、「Microsoftでログイン」をタップします。

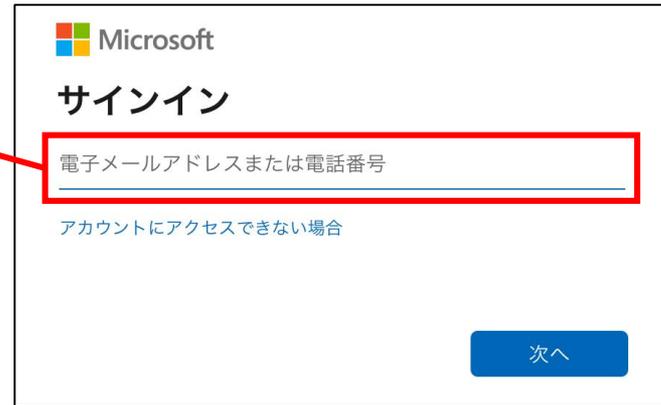
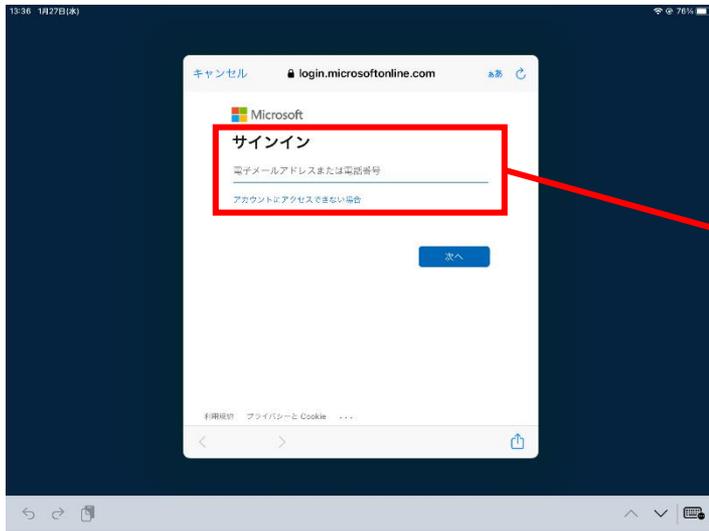


③「続ける」をタップします。

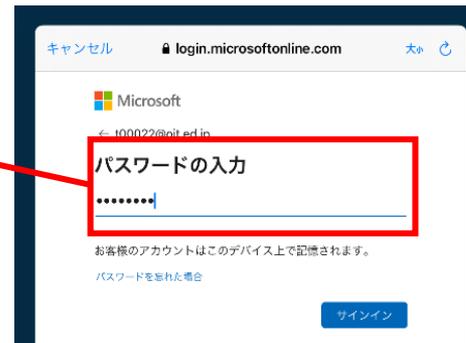
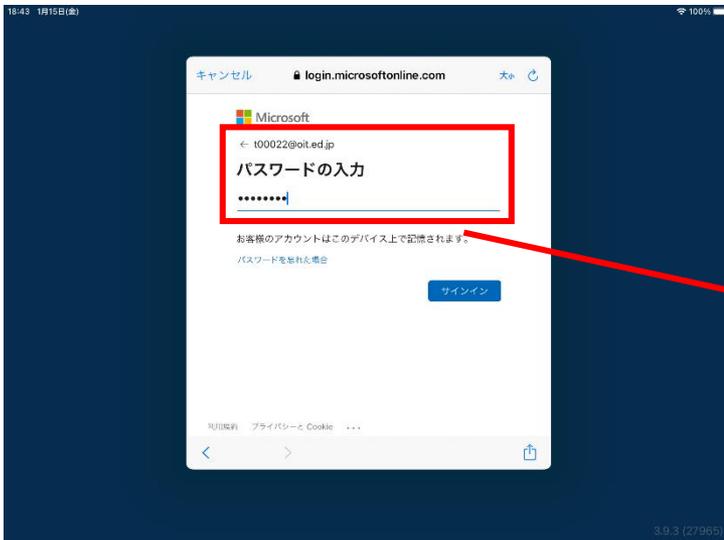




④自分の I D
「〇〇@oit.ed.jp」を
入力して、「次へ」をタップします。

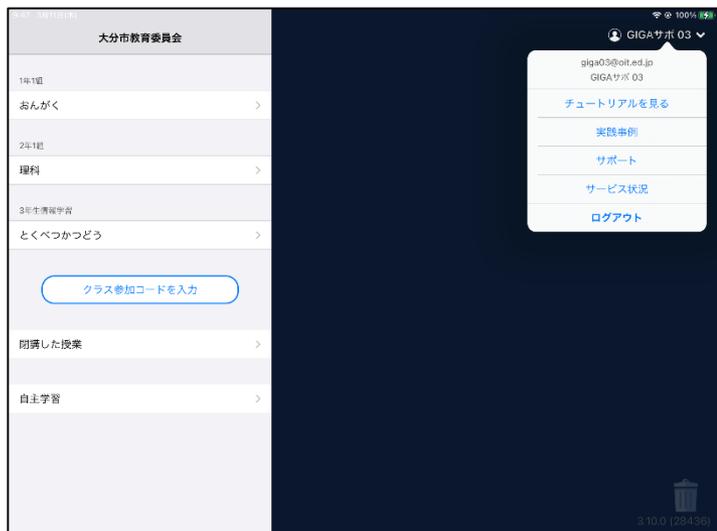
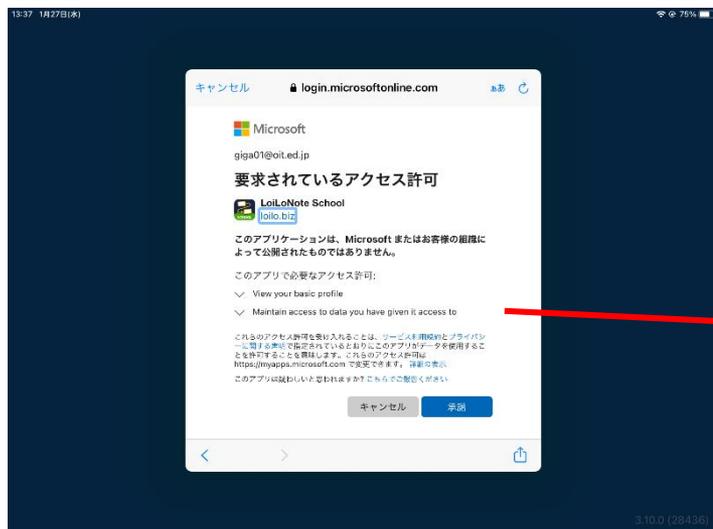


⑤自分のパスワードを入力して
「サインイン」をタップします。





⑥ 「承諾（しょうだく）」をタップします。



⑦ ロイロノートにログインできました。
(右上に名前が表示されます)

ログアウトしなければ、次回からはそのまま使用できます。

Office365にログインしよう！

- ・文章を書いたり、スライドを作ったりすることができるOffice系のアプリにログインを試みましょう。

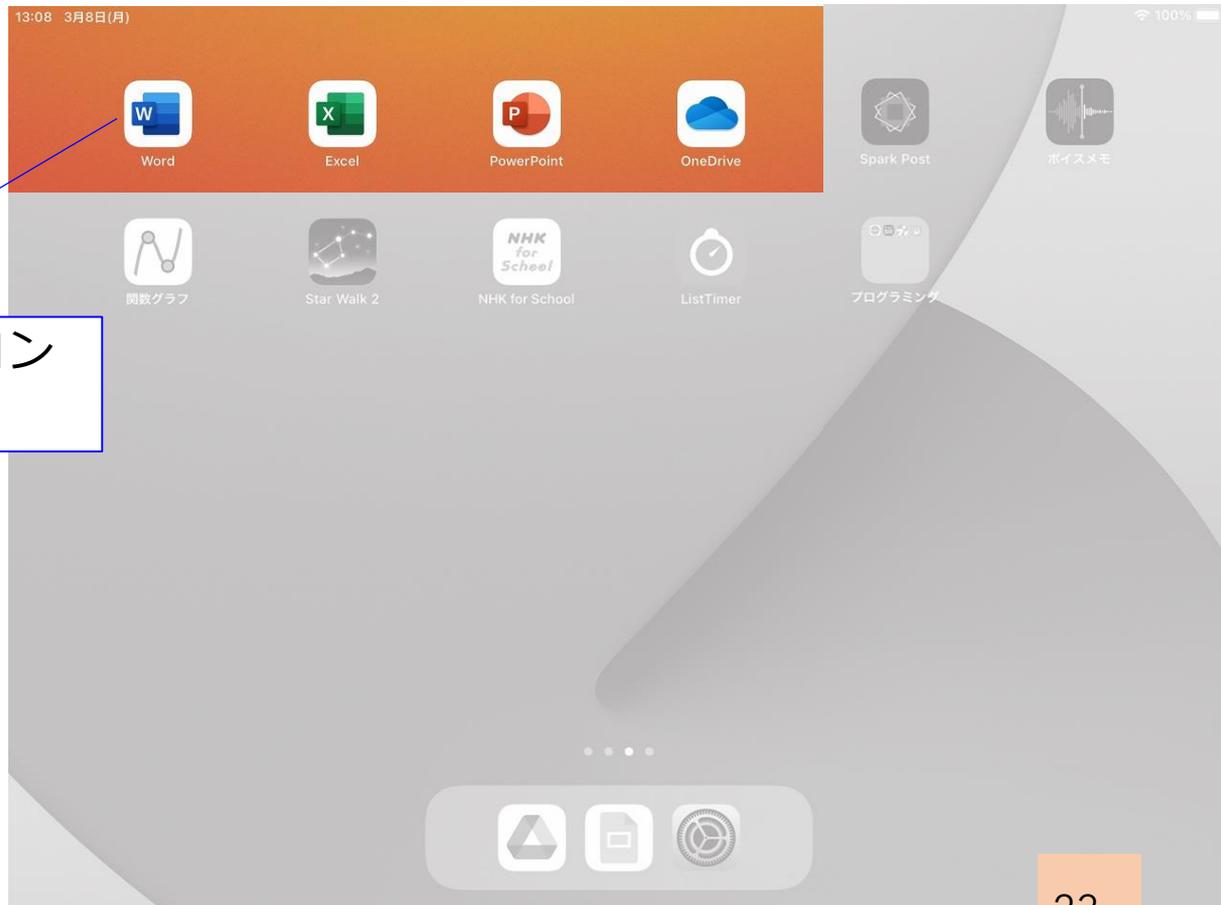


 Office 365

Office 365 1



- Office365のログイン方法です。
- アプリは、iPadの3ページ目にあります。

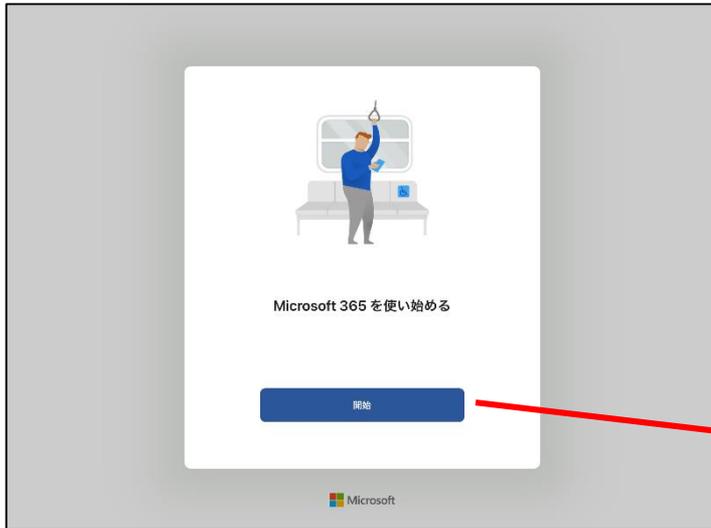


①最初に「Word」のアイコンをタップします。

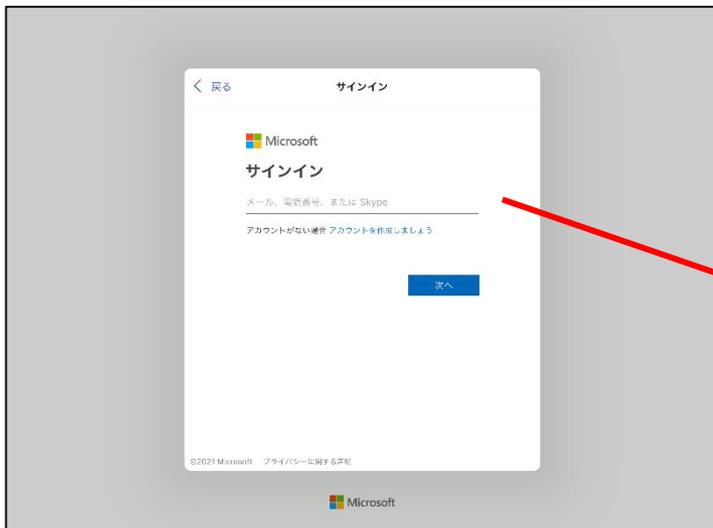
Office 365 2



②Wordを開くと
図のような画面が表示されるので
「開始」をタップします。

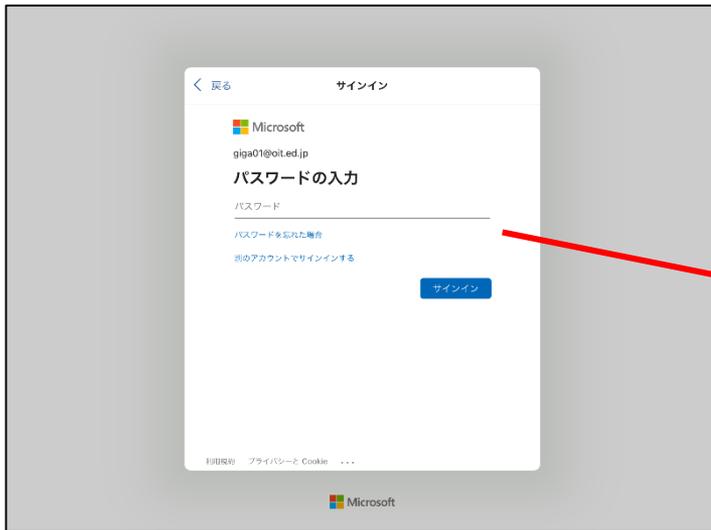


③自分の I D
「〇〇@oit.ed.jp」を
入力して、「次へ」をタップします。

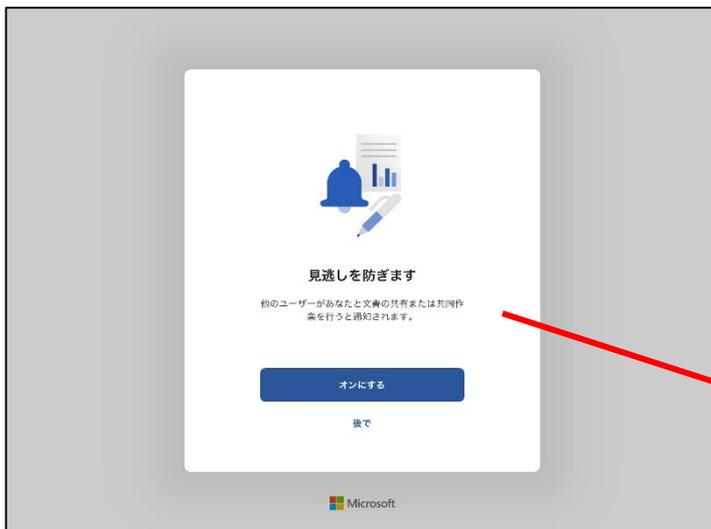




④自分のパスワードを入力して「サインイン」をタップする。



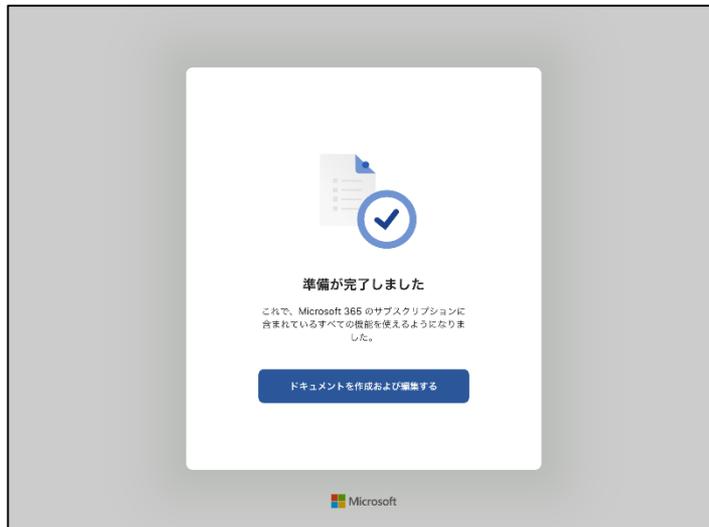
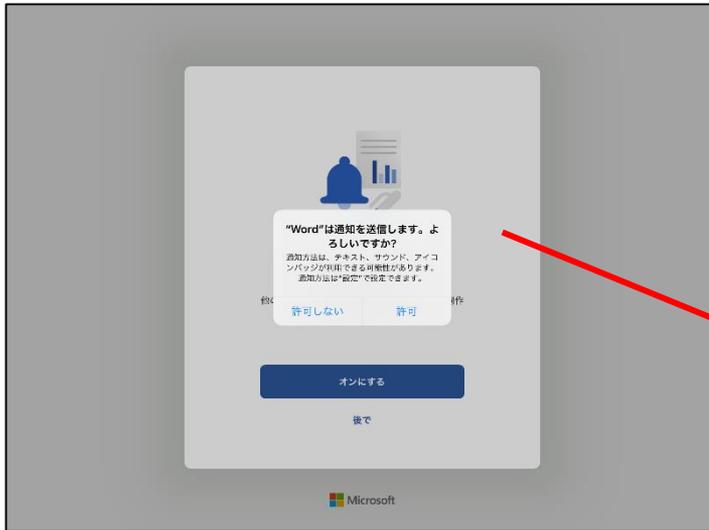
⑤通知については、「オンにする」をえらんでよいです。



Office 365 4



⑥通知は「許可しない」をえらびます。



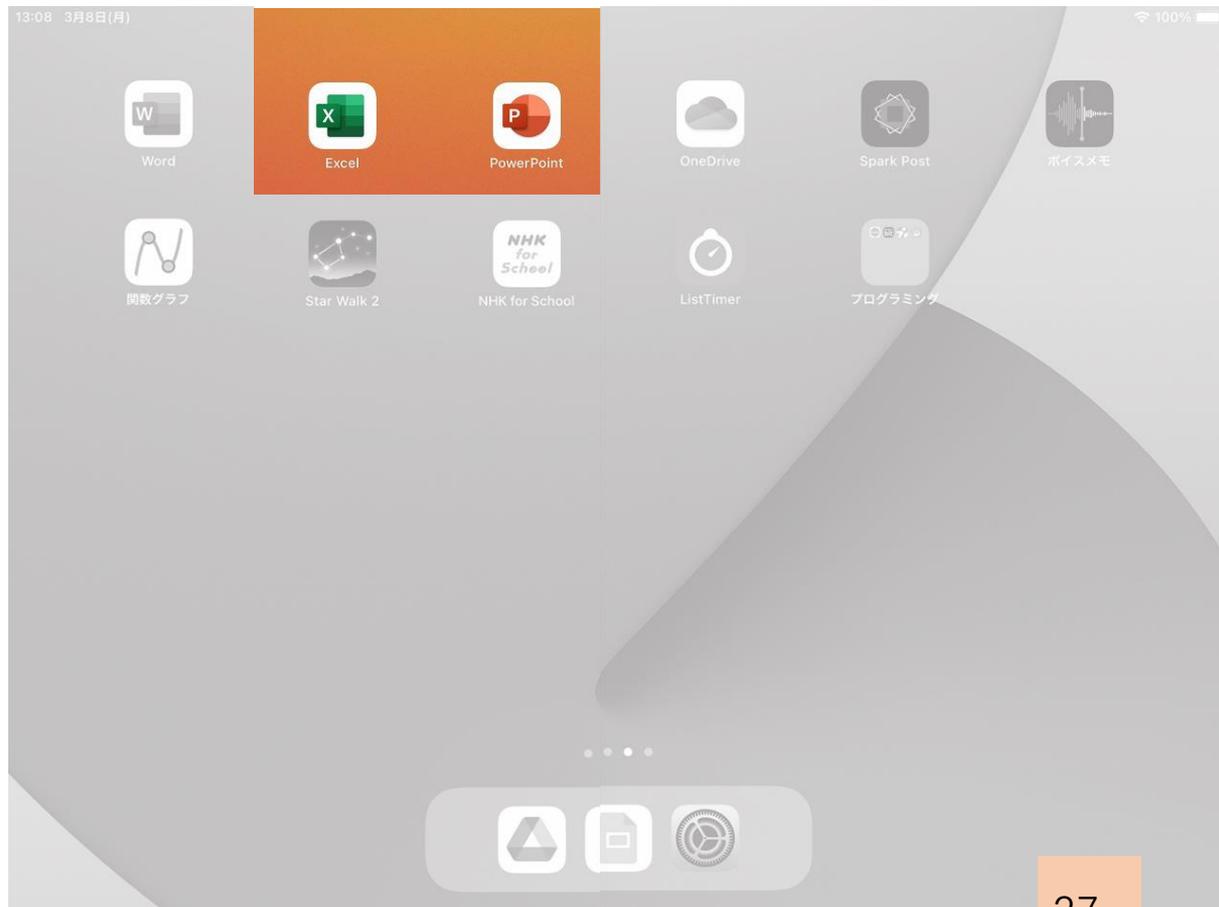
⑦Wordにサインインできます。

サインアウトしなければ、次回からはそのまま使用できます。

Office 365 5



- ExcelとPowerPointも同じ手順でサインインできます。



Office 365 6



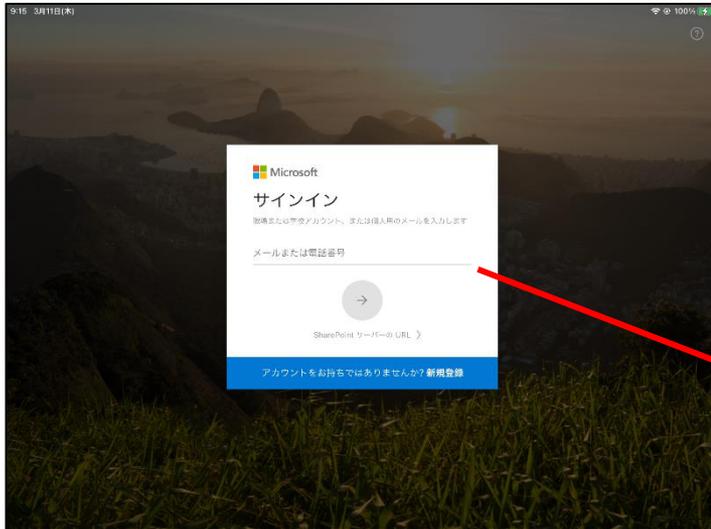
- Office365の中で、OneDriveだけがサインインの仕方がちがいます。



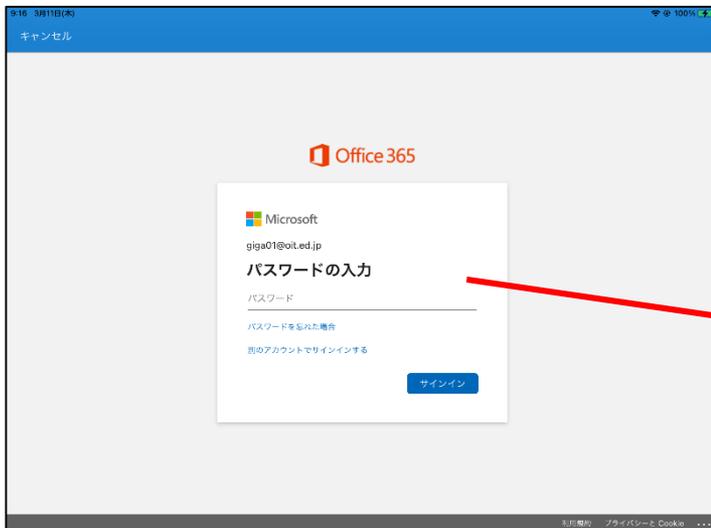
① 「OneDrive」のアイコンをタップします。



②OneDriveを開くとサインイン画面が表示されるので、自分のID「〇〇@oit.ed.jp」を入力します。



③自分のパスワードを入力して「サインイン」をタップする。





④OneDriveにサインインできます。

サインアウトしなければ、次回からはそのまま使用できます。



- 一度、サインインしておけば、次からはそのまま使うことができます。
- サインイン画面が出たときは、同じ方法で進めてください。

Spark Postにログインしよう！

- ・チラシやポスターなどを
かんたんに作ることができる
Spark Postにログインしてみましよう。



Adobe Spark

Sp Adobe Spark 1

- Spark Postのログイン方法です。
- アプリは、iPadの3ページ目にあります。



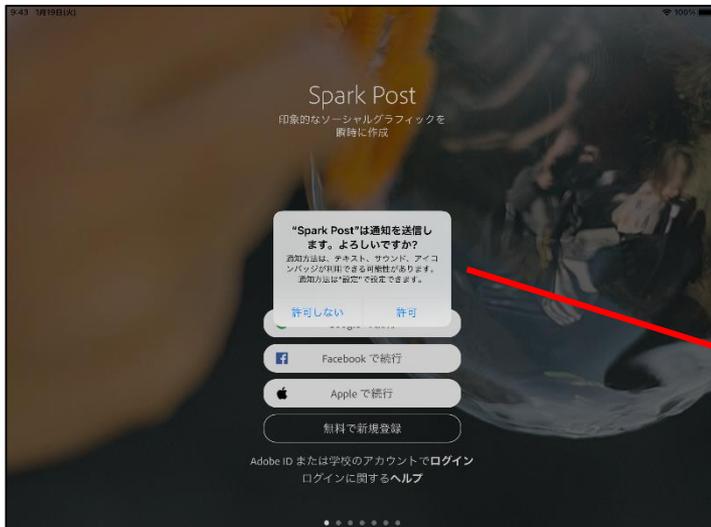
①最初に「Spark Post」のアイコンをタップします。



② 「Spark Post」を開くと
図のような画面が表示されます。

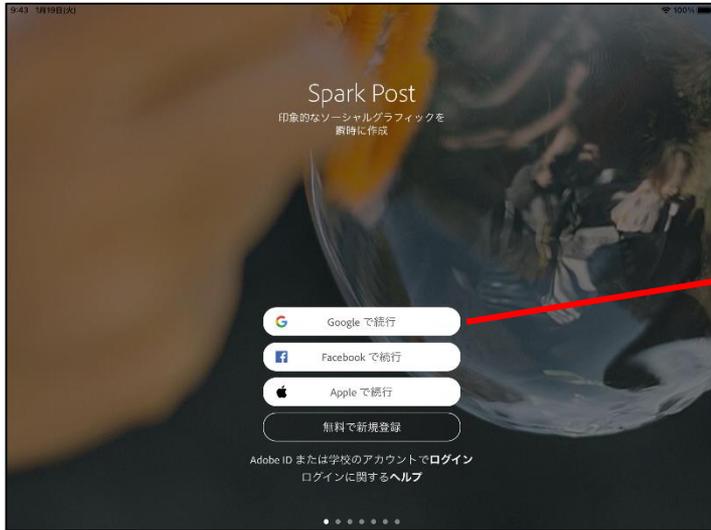
※この画面では、何もする必要はありません。

③通知は「許可しない」をえらびます。

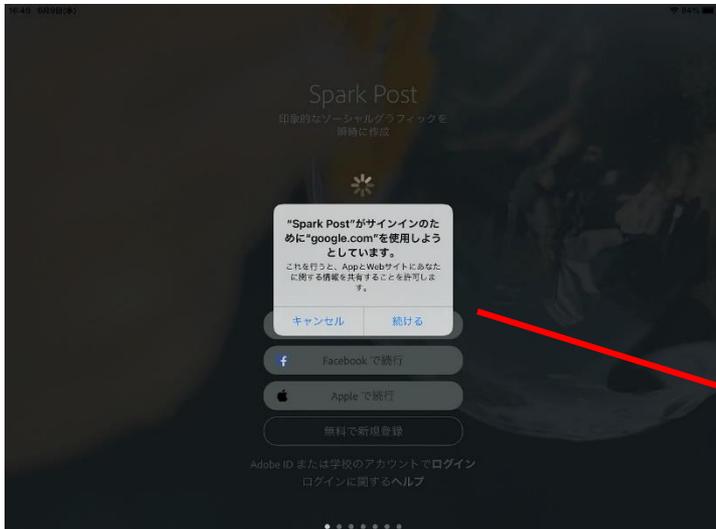




④画面中央の「Googleで続行」をタップします。

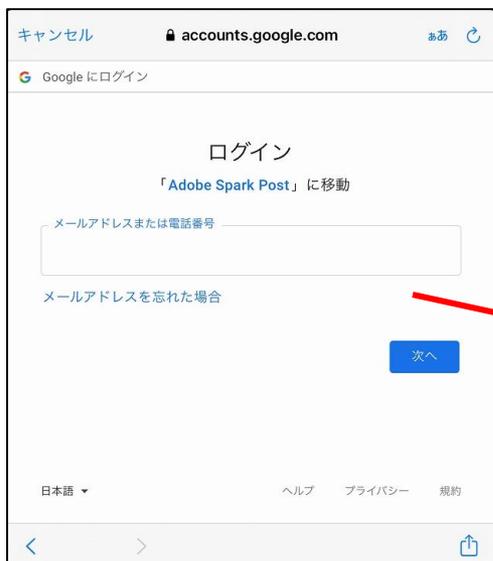


⑤Googleの使用について、確認されるので、「続ける」をタップします。

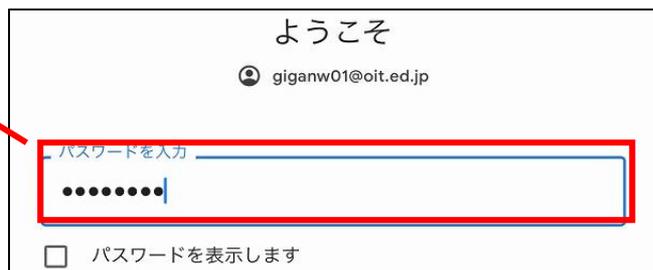




⑤ログイン画面が表示されるので、
自分のID
「〇〇@oit.ed.jp」を入力し、
「次へ」をタップします。

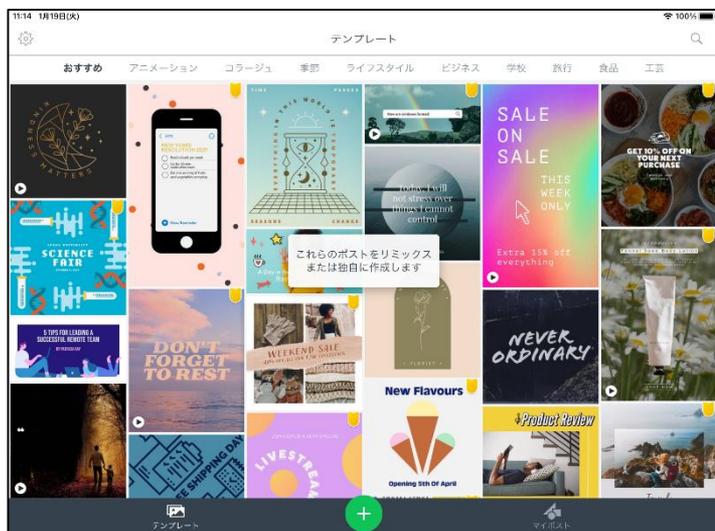


⑥自分のパスワードを入力して
「次へ」をタップする。





⑧ 「許可」をタップして、
アドビからのメッセージは受け取らないようにして完了です。



⑨ ログインできました。
たくさんのデザイン例があるので
使ってみましょう。

Spark Postにログインしよう！

- ・チラシやポスターなどを
かんたんに作ることができる
Spark Postにログインしてみましよう。



Adobe Spark

どんどん使ってみましょう！

ログインができたなら、先生の指示にしたがって楽しく学習を進めましょう。



しばらく使っていないと、もう一度、ログインを求められることがあります。

その時は、同じ方法でログインしましょう。